

令和6年度 第3回 スポーツ推進審議会 議事要旨

日 時	令和7年2月18日（火） 13:25～15:05
場 所	第二委員会室
参 集 者	委 員／中條庸右、齋藤 隆、堀 俊一、齋藤 勉、金子 尚、 進藤和真、大滝美樹、穂積 祥 欠 席／田中 大 酒田市／赤坂教育長、堀賀教育次長 ／スポーツ振興課（事務局） 樋渡課長、中山課長補佐、高橋主査兼係長、乙坂係長、 山崎調整主任 ／学校教育課 小林指導主事
配布資料	資 料 1 令和7年度スポーツ振興課当初予算要求の概要 資 料 2 令和6年度におけるスポーツ推進計画の主な取組み状況 について 資 料 3 酒田市スポーツ推進計画及び酒田市体育施設整備方針の 中間見直しについて 当日配布 鬼ごっこ事業アンケート調査（中間報告）

1. 開会（事務局）

【会議の成立について報告】

- ・酒田市スポーツ推進審議会に関する条例第6条第1項により、審議会は委員総数の過半数の出席が要件となっている。本日の審議会は委員総数9名のうち8名の出席であり、審議会が成立していることを報告する。

2. あいさつ（教育長）

- ・日頃から、本市のスポーツ振興、教育行政についてお力添えをいただき感謝申し上げます。
- ・今年度は新たなスポーツイベントとして、第1回酒田市スポーツフェスティバルを実施した。また、駅伝競走大会は、光ヶ丘のクロスカントリーコースにコースを変えて実施した。
- ・令和7年度の目玉事業としては、湊酒田つや姫ハーフマラソン大会に新たに5キロメートルの部を新設し、また、より魅力のあるコースへの変更と、参加料の改定を予定している。
- ・施設改修については、現在、光ヶ丘陸上競技場のトラック改修工事と、光ヶ丘テニスコートの照明改修工事を行っている。今後は八幡体育館の改築工事、光ヶ丘野球場及び屋内練習場の人工芝改修工事を予定している。
- ・令和7年度予算案が3月定例会に上程されるが、令和7年度は「山形県スポーツ推進計画」を参酌し、「酒田市スポーツ推進計画」及び「酒田市体育施設整備方針」の中間見直しを予定しており、地域の実情等にあわせた見直しを行っていく。
- ・本日の審議会では、委員の皆様からそれぞれの立場での忌憚のないご意見を賜りたい。

3. 協議（進行：会長）

【審議会の進め方について】（事務局）

- ・はじめに（１）「令和７年度スポーツ振興課当初予算要求の概要」について説明させていただく。
- ・続いて、（２）「令和６年度におけるスポーツ推進計画の主な取組み状況」について、特筆すべき事項を４つの基本目標ごとに説明させていただく。
- ・続いて、（３）「酒田市スポーツ推進計画及び酒田市体育施設整備方針の中間見直し」について説明させていただく。
- ・このほか、協議終了後になるが、その他として「中学校運動部活動の地域移行に係る対応」について、学校教育課より説明させていただく。
- ・ご意見、質疑等については、その都度お願いをしたい。

（１）令和７年度スポーツ振興課当初予算要求の概要 **資料 1**（事務局説明）

【質疑応答】なし

○事務局

補足する。スポーツ振興課の予算の分け方としては、スポーツ振興系のソフト事業と、施設系のハード事業がある。令和７年度予算（案）として、大きいものは八幡体育館改築、それから野球場の人工芝化、テニスコートの人工芝更新改修になる。令和６年度は、体育施設照明設備改修事業として、光ヶ丘テニスコートの照明改修を実施している。今後も各施設の照明改修はあるが、令和７年度は無いということで、一旦この事業は廃止になり、新たに事業化するときには新規事業となる。この点をご承知おきいただきたい。

（２）令和６年度におけるスポーツ推進計画の主な取組み状況について

<基本目標Ⅰ>誰もが楽しめる生涯スポーツの推進 **資料 2-1**（事務局説明）

【質疑応答】

○委員

スポーツ少年団本部活動で、能力測定会と同時に体験会を初開催ということであるが、子ども達が色々な種目を体験するということが大切ではないかと思う。これは今後もこの４種目でいくのか、もっと色々な種目を紹介していくという方向性もあるのか伺う。

⇒委員

のべ４１２名が参加とあるが、１５０人から１６０人くらいの参加者が、ほとんどの競技を体験していった。専門部には、ほかに剣道とバスケがあるが、来年度は参加したいという意向はある。全体的に、運動能力のある子は何をやらせてもすごい。初めてやったという子どももなじんできた。「能力測定会に来る」というだけで、それだけの能力がある子ども達だと思った。今回は初めての機会、慣れない部分もあったが、次回から少し広げてやりたい。剣道とバスケを増やす形で考えている。

○委員

体験会に私の甥っ子も参加した。話を聞くと、「サッカーをしてきた」「すごく楽しかった」ということなので、引き続き実施していただきたい。

○委員

当日見学をさせていただいた。測定をした方々が自由に参加できるという自由さがいいと思ったのと、能力測定会と一緒にきてきた兄弟にちょっとやらせてみることもできる。そこに関わる人達も、休日にも関わらず、盛り上げ上手ですごいと思った。

○委員

今回の反省点としては、時間の部分。ほかの行事を入れている保護者から「昼から来てもいいのか」と問い合わせがあった。来年度も引き続き実施する場合は、半日のみの参加も考えたい。初めての開催で、指導者も、指導方法が「怒ってはだめだ」とか色々あるので、勉強になったと思う。

○委員

当日、送り迎えをした保護者の方は働き盛りのお父さん、お母さんだと思う。今、その年代のスポーツ離れが問題になっているので、大人のブースがあって、運動指導・ストレッチなど「家でもできますよ」みたいなことを、講師を派遣してやられたらいいのかなと思った。

＜基本目標Ⅱ＞感動と活力に満ちた競技スポーツの推進 **資料 2-2** (事務局説明)

【質疑応答】

○委員

ミライニで催し物をするとき、駐車場は無料になるのか。

⇒教育次長

ミライニの駐車場については、2時間までは無料となる。2時間を超える利用の場合、駅の東側、反対側になるが、ミライニ開館中は無料でとめられる駐車場を整備している。それを活用いただければ時間の制限はない。お子様連れには少し不便かもしれないが、そういう準備はしている。

＜基本目標Ⅲ＞スポーツによる賑わいとまちづくりの推進 **資料 2-3** (事務局説明)

【質疑応答】なし

＜基本目標Ⅳ＞安全安心なスポーツ環境の整備 **資料 2-4** (事務局説明)

【質疑応答】

○委員

光ヶ丘野球場の見通しについてだが、酒田でも高校野球ファンが多い。今は、高校野球は鶴岡市で開催しているが、酒田でやったら市民が喜ぶのではないか。光ヶ丘野球場に高校野球を誘致する見通しはいかがか。

⇒事務局

これからの改修にあたっては野球連盟、ソフトボール協会と時期的な調整は行う。大会についてはそれぞれの連盟・協会のもとで県連だとかそういったところとの調整があろうかと思う。高校野球は鶴岡市でやられているが、高校野球の大会基準に伴った施設であれば、やれるだろうと思っている。見通しとして、じゃあ再来年度からやれるかということ、まだ情報としては来ていない。当然、地元高校の強化という部分でやっていただけるものならやっていただきたいと思うし、入場料を取るといってお話もあるので、そういったところも情報をいただきながら、担当課として周知していきたい。

○委員

I N P E X酒田アリーナや他の体育館を減免利用させていただき、幼稚園としてはあり

がたく思っている。その一方で、保育園の先生と話したときに、保育園にはバスがないので中々そういう所には行けないという話を聞いた。例えば市からバスをお借りするとか、それぞれの園の方針があるので、遠いところに行って行事をするということが全てではないし、ただ広い所で子ども達が思いっきり遊んだり体を動かしたりする機会もいいなど私達は当たり前のように思っていたが、それができない園もある。以前、酒田市主催のまつりのときに、市でバスを出してくれて、色々な保育園が希望ホールに一堂に会して催し物をしていた。普段はどのようなシステムになっているのか。

⇒事務局

スクールバスを使える基準があると思うが、スポーツ振興課では分からない。

⇒委員

十坂小学校の授業の一環でグラウンドゴルフをやっている子ども達が、年に1回くらい「はまかぜ号」を呼んでスワンパークまで往復している。教育委員会にお願いをしたら、バスを出してくれるのではないか。

⇒委員

小学校では「はまかぜ号」を使えると思うが、保育園ではどうか。タクシー会社に有料で頼んでいるという話も聞く。

(3) 酒田市スポーツ推進計画及び酒田市体育施設整備方針の中間見直しについて 資料3 (事務局説明)

【質疑応答】

○委員

19ページで気付いたことが何点かある。

- ・ 3 (3)「プロスポーツ等」について、「等」とはどんなイメージか。
- ・ 4 (3)「スポーツを実施する者」の「者」について、前後の記述からみると違和感を覚える。ただ国の計画がこのようになっている。国の計画を参酌することなので、ただ前後をみると「者」なんて言い方は考えられない。
- ・ 4 (1)で前は「整備充実」となっていたが、「充実」が削除されている。これは何か意図があるのか。
- ・ 4 (4)「スポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化」、非常に難しいのだがどんなイメージを持っているのか。

⇒事務局

今、県内にアランマーレ、ワイヴァンズ、モンテディオがあるが、プロ化になっていない企業スポーツ。昔で言うと、市内企業のラグビーチームだとか、色々なものがこれからもしかすると、企業チームとしてチーム化されるということが考えられる。プロだけが地元のチームではない。今後どうなるか分からないが、そういったものも含めたことで考えている。

文言については、国等の計画をあくまでも参酌することにはなるが、酒田市の計画なので、皆さんよりご意見をいただきながら、直すべきものは直していきたいと考えている。

最近「ガバナンス」や「コンプライアンス」等、色々な文言があるが、具体的にそういったものを計画にうたってきてないところもあった。基本的には「安全・安心」という言葉で、ハード的なイメージを持ちつつ、子ども達を指導していくうえで、スポーツの環境整備というところで、今回「ガバナンスの改革」ということである。市として色々な団体に物を申すことができる場合と、例えばスポ少であれば事務局を持っているので研修会を開くなどができるが、競技団体はスポーツ協会を通じてお願いをしたりということもあろうかと思うし、クラブチームや民間団体にも研修会の周知をできるイメージで考えている。直接できる

こととできないことがあるのだと思うが、まずは計画の中にそういったものをうたっていきたい。

ソフトテニス連盟で、コンプライアンスに関連した研修会を、国のナショナルチームの方から講師を招いて実施した。今、様々な競技団体で、指導者の子ども達に対する対応の仕方、ちょっとした言葉の意味の捉え方で、すぐ「暴言」と捉えられることもある。先日、酒田南高校駅伝競走部の阿部亮監督から来ていただいて、スポーツ推進委員会で講演会を行った。そのときに話をしたのだが、例えば陸上競技であれば走ることが競技であるが、球技でミスしたときにランニングさせられるのは「罰」と捉えられるのか、それは選手の意識レベルの違いもあると思う。そういったものを切り口に指導者の立場、子ども達の立場、保護者から見る視点だとか、色々な見方があると思うので、全体で共有した研修会・講習会ができれば、環境改善につながると思う。

○委員

前の審議会でも申し上げたが、審議会委員は条例で10名以内となっている。今回「スポーツを通じた共生社会」という言葉が出てきたので、このことを考えると、社会福祉協議会等からも入ってもらうとか、前は商工会とか経済界からも、と発言したが、オール酒田にならないにしても、4月から人数を増やすことを検討していただきたい。

○委員

言葉のニュアンスは難しいとっていて、令和5年度の全国学校体育研究大会を山形県で行ったときに参加させていただいたが、山形県でうたっているのが「する」「みる」「ささえる」「しる」スポーツであった。酒田市はそれを鑑みたくて、独自に「しる」を省いたと思うのだが、ニュアンスが無いというわけではなくて、「する」「みる」「ささえる」だと能動的な感じがして、自分から動かないとそこに入っていけないようなイメージ。「しる」だともっと柔らかくて、その人の立場で感じられるものでもいいとっている。でも、このときの大会の「しる」は、自分の体とか健康とか色々なことを知って、自分事のようにやっていくことでもっとスポーツに興味・関心を持つという意味だったと思う。色々な視点があった中で、もしかしたら能動的じゃない「みる」もあって、自然とテレビから流れてくるもので触発される部分もある。言葉は難しいけれど、山形県と違う、酒田市オリジナルのスローガンをあげるとなったときに、色々な意味合いを込めた言葉を選んでいただけたらありがたい。

○委員

中学校部活動の移行・展開というのが一番大きな話題であるが、新しい体系図の中のどこに入っていくのか。

⇒事務局

- 1 (2) 「子どものスポーツ機会の充実と体力の向上」に入る。

【全体を通して】

○委員

先ほどお話があった「する」「みる」「ささえる」、これに「つくる／はぐくむ」「あつまり」「ともに」「つながり」「誰もがアクセスできる」というので、私共スポーツ推進委員会の研修会でよくこの言葉を目にする。去年、宮崎で全国大会があり、そのとき印象に残ったことを紹介したい。講演の中で、増田明美さん（陸上解説者）から話があったのだが、宮崎県の

どこの市か忘れたが、小学生・中学生・高校生・大学生、これに95歳くらいまでの高齢者と障がい者が一堂に会してスポーツ大会をしているということで、その大会が「みんな違っていい」ということで、素晴らしいところを見せられる大会ということで行っている市があるということであった。もう1点が、先ほど「つや姫ハーフマラソン」の話が出ていたが、宮崎では秋から冬にかけてのマラソン大会で、応援する高齢者がなかなか沿道に出ないということで、ランネットに選手から「沿道に人がいなくて寂しい」との意見が挙げられた。市で考えて、人が一番少ないところに案山子をずらっと置いたそうだが、そうしたらこれがインスタ映えして、次の年から、参加者だったり、大会とか案山子を見にくる人が増えて、とても良い方向に向いたという発表があったので、報告させていただいた。

○委員

スポーツ鬼ごっこについて、今年度、うちの学校でも実施することができた。本当に、色々感想に出ているように子ども達が生き生きと活動したり、あと普段は積極的ではない子ども「大学生が来た」ということで意欲的に活動してありがたいと思った。大学生の授業の合間を利用しているということで、旧市内の小学校だと実施回数が増えるのだが、遠い学校だと回数が少なくて残念である。うちの学校は今年度1・2年生のみの実施であったが、「この経験をもっと他の学年にも」という想いもあるものだから、難しいことは重々承知ではあるが、できれば何かしらの方法で回数を増やせるようにしていただきたい。

○ここで、当日配布資料「**子どものスポーツチャレンジ支援事業（鬼ごっこによる体力向上）アンケート調査（中間報告）**」について、事務局説明。

○委員

鬼ごっこ事業について、学生も非常に慣れないながらも皆で協力しながら、試行錯誤してやっている。次年度以降もより良い形で進めていけたらと思う。大学としても色々な変化を迎えるタイミングでもあるので、そういったところも踏まえて、より良い形で貢献できればと、学生達も考えているようである。

○委員

光ヶ丘球技場の照明が使えないということで、中高生が夜間使えなくて困っていると聞いている。その辺りの状況や、今後の方向性を情報としていただきたい。

⇒事務局

照明の改修計画には上がっている。故障以前から計画には上がっているが、来年度ではない。今後、予算措置をすることになるが、令和8年度以降となる。市の財源だけでは改修できず、国の財源が必要になってくるので、そこも含めて今検討している。今現在、球技場をどうするかというと、故障箇所や原因が「絶縁不良」と伺ってはいるが、今再調査をしているところである。電気屋から直してもらえるのであればすぐにでも照明は点くのであろうが、実際、照明自体が全部点いている状況ではないため、照度・明るさについては、故障前と同じような状況ではあるのだが、そこを元に戻すような形で今、新年度に向けて調査をしているところである。

○委員

野球場の人工芝化のところの経緯はどのような流れで決まったのか。

なかなかサッカーのグラウンド関係で飯森山グラウンドだとか、他のグラウンドの環境により大会が別の会場に移ってしまっているというのもあったので、質問させていただいた。

た。

⇒事務局

経緯としては、野球連盟から、グラウンドの整備状態が悪いということで、改善の要望書を出していただいたところが最初の経緯である。

4. その他

(1) 中学校運動部活動の地域移行にかかる対応について 当日配布資料（説明後回収）

(学校教育課説明)

部活動改革を進める上で、スポーツ庁から協議会の設置を求められていた。令和5年度から部活動改革を進めていたが、このスポーツ推進審議会を「協議会」と位置付けして、見なしていたということがあった。ただ、協議会といっても、結局こちらで報告をして皆様からご意見をいただくというような形だったので、本来の、実際に部活動改革をどうやって進めていくのかといったところを、意見を出しながら作っていく形にはなっていなかった。今回、協議会というものを作って、酒田の部活動をどうしていくべきなのかということ、これまでは学校教育課が中心となって進めてきたが、教育委員会4課が中心となって、色々な方々から意見をいただきながら、今後の部活動改革を進めていきたいということで、来年度から設置する予定である。資料は「案」となっており、担当者のほうで見直しをかけながら、令和7年度から協議会を進めていけたらと思っているところである。資料2枚目に、現時点での委員案を、現在の役職で入れさせていただいた。こちらについてもまだ確定ではないので、後程、決まり次第改めてご依頼をさせていただきたい。その裏面のほうに、どのような日程でやっていくかということで、大体の目安を掲載させていただいた。こちらでも年3回の開催を予定している。実は今、改革推進期間というのが令和5年度から令和7年度までの3年間になるが、先日、スポーツ庁から話があり、令和8年度から令和13年度までの6年間を「改革実行期間」という形で進むことになっている。前半3年が前期、後半3年が後期となる。令和8年度の改革実行期間から、どのように酒田市が進んでいくのかということ、来年度1年間かけて作っていかれたらと思っているところである。ただ酒田市、山形県でも、令和8年度からは、休日の部活動は「しない」という話が出ている。すでに受け皿がある中学校区があったり、受け皿がない中学校区については皆でクラブを作っているという状況である。そちらがある程度進んでいった段階で、酒田市として、さらにどういった形でやっていくのかということ、令和8年度から始められるように、来年度1年間、皆様のお力もお借りすることになると思うので、ぜひご協力いただきたい。

(2) その他

○事務局

委員の改選について。今回が最後の審議会となるが、皆様からは2年間ご協力いただいたことに感謝申し上げます。今後は、来年度の審議会委員の選出について、内部で協議をさせていただいた上で、関係団体に依頼をさせていただく。検討の結果、引き続きお願いをする場合もあるかと思うので、その際はよろしくお願いをしたい。

5. 閉会（事務局）

以上